

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2006-500462(P2006-500462A)

【公表日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-540182(P2004-540182)

【国際特許分類】

C 09 K 3/14 (2006.01)

B 24 D 3/00 (2006.01)

B 24 D 3/06 (2006.01)

【F I】

C 09 K 3/14 5 5 0 C

C 09 K 3/14 5 5 0 E

C 09 K 3/14 5 5 0 F

B 24 D 3/00 3 1 0 C

B 24 D 3/00 3 2 0 B

B 24 D 3/00 3 3 0 D

B 24 D 3/00 3 4 0

B 24 D 3/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月2日(2005.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

前記炭化物は、SiC、WC、及びTiコーティング済みCBNからなる群から選択される1種である、請求項16に記載のコーティング済み超研磨材粒子。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項23】

前記セパレーターは、Al₂O₃、SiO₂、ZrO₂、BN、AIN、及びこれらの混合物からなる群から選択される1種である、請求項22に記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項25

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項25】

コーティングの工程を行う前に、前記超研磨材粒子の表面にCr、Si、Ti、及びWからなる群から選択される材料の層を形成する工程を行う、請求項18に記載の方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 9】

粒子を一緒に冶金学的に結合する前に、各粒子は凝固済み溶融ブレーズ合金でコーティングされる、請求項 5 8 に記載の方法。